



何よりもまず、 安心の家づくりを。

制振にかける想い

先ごろから頻発している巨大地震から大切な家族を守るためにできることは何か。それは家に十分な強さを持たせることだけではなく、建物の揺れを抑える「制振」性能を持たせること。揺れを抑え、建物の損傷を軽減させ、安全を確保すること。このような想いから家族も建物も財産も守る制振装置「KブレースⅡ」を開発しました。

揺れを低減し、家具転倒などのリスクを抑える。

「制振」が施されていれば揺れ自体が低減されるため、家具の転倒を防いだり、クロスの上などを抑えることができます。また、寝室が配置される上層階ほど揺れにくくなるため、万一就寝時に地震が起きたときも安心です。

大きな修理費が不要で、そのまま住み続けられる。

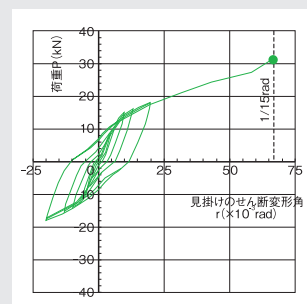
家の損傷を抑えることができれば、地震の後も家の機能を保持しやすく、住み続けることができます。大きな修理が不要であれば、補修にかかる費用のリスクを減らせます。

毎日の安心と家族の安全を実感できる。

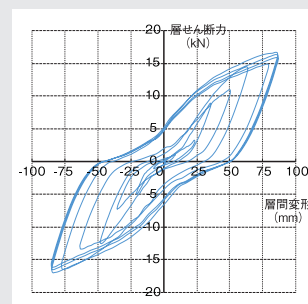
建物の価値や家族の生活を守ってくれる、という安心感こそ「制振」がもたらす効用です。「ウチは大丈夫」と日々思えば、今ここで地震が起きたら…と怖がることはありません。

繰り返しの地震から大切な家を守る耐久力があります。

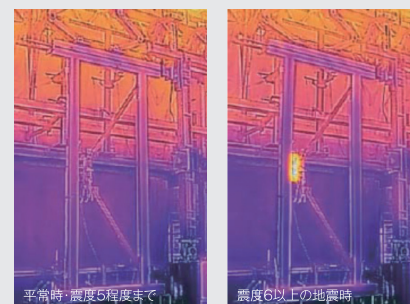
KブレースⅡは、公的機関による性能評価試験を実施し、巨大地震においても家を損傷させにくく、高い耐久性を発揮できることが示されました。



【静的試験時のグラフ】
最大耐力は約30kN以上を記録しました。



【動的試験時のグラフ】
繰り返しの大変形にも壊れませんでした。



【動的試験時のサーモグラフィ画像】
振動エネルギーを熱エネルギーに変換しています。

KブレースⅡ 製品仕様 ■壁倍率:5倍 ■大臣認定番号:FRM-0552(1,000mmモジュール)・FRM-0559(900~910mmモジュール) ■重量:約19kg/基
■適応内法高さ:2,480mm~2,760mm ■柱スパン:900~910mm、1,000mm ■必要数量:4基(延床40坪程度の場合)

開発・設計・製造・製品に関するお問い合わせ

FORWARD Housing Solutions **フォワードハウジングソリューションズ株式会社**

〒151-0053 東京都渋谷区代々木5丁目55-6 <http://www.forward-g.co.jp/>
tel.03-5478-7251 fax.03-5478-1141

〒540-0037 大阪府中央区内平野町2丁目1-9 シグナスビル
tel.06-6940-5681 fax. 06-6940-5677

製品サイト:<http://k-brace.com/>

お求め・お問い合わせは



II MAKE US FEEL SAFETY
守られている安心感

THE NEW KブレースⅡ



守るのは「平穏な日常」です。

地震の揺れに耐える「耐震」
×
揺れを吸収し損傷を軽減する「制震」

「我が家は安全、だから安心」

KブレースⅡ

KブレースⅡは、東京工業大学の技術提供を受けて開発された制振システムです。

開発技術提供・監修

東京工業大学
未来産業技術研究所 都市防災研究コア

笠井 和彦 教授

KブレースⅡは、家族と家を守ります。

KブレースⅡ 3つの安心

安心 1. パパが安心。自宅の家族は大丈夫。

最強の耐力壁として大臣認定を取得。壁倍率5倍を有し建物の倒壊、変形を抑えます。
いざという時にパパの代わりに家族を守ってくれるので安心です。

安心 2. ママも安心。自宅に居れば大丈夫。

家の揺れを抑止する強力な制振効果があるKブレースⅡ、ダンパー部分が揺れを吸収して構造を守るため、強い地震があったときも、家具等が転倒しにくく、家が家族を守ってくれます。

安心 3. ボクだって安心。あわてなくても大丈夫。

繰り返し起こる地震にも強いから大丈夫。KブレースⅡが家の揺れを小さくしてくれるので、落ち着いて行動することができます。



強い地震では、揺れた時の震動が少なくなるので、家具等が転倒しにくくなり、安全性が高い。



地震時に、建物自体は耐えるが、大きく揺れて、室内の家具等の転倒をまねく。

KブレースⅡの特徴とメリット

壁倍率5倍!!国土交通大臣認定取得

信頼の大臣認定製品。耐力壁として最高倍率の認定取得。東京工業大学 笠井教授による開発技術提供・監修。

耐震等級の取得が容易に!!

壁量に算入できるため、耐震等級が取りやすい。必要以上の耐力壁が不要のため、間取りの自由度が高い。

施工性に優れた制震システム

高さ、幅方向にアジャスト機能があり、大工1人でも取り付け可能な現場組立式。躯体とは専用ビスを留めつけるだけで、専用のホールダウン金物などは不要。